

IV 第 47 回市政に関する世論調査の結果

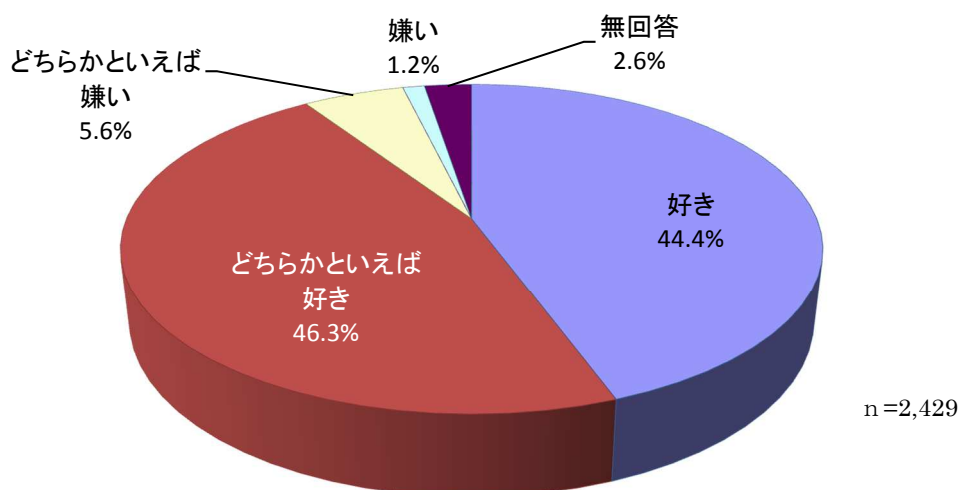
1. 宇都宮市に対する感じ方について

(1) 宇都宮市の好き・嫌い

◇ 「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた【好き（計）】が9割超え

問1	宇都宮市を好きですか、それとも嫌いですか。	(○は1つ) n=2,429
1	好き	44.4%
2	どちらかといえば好き	46.3%
3	どちらかといえば嫌い	5.6%
4	嫌い	1.2%
	(無回答)	2.6%

<図IV-1-1>全体



宇都宮市を好きか、嫌いかに聞いたところ、「好き」が44.4%、次いで「どちらかといえば好き」が46.3%で、これらを合わせた【好き（計）】が90.7%であった。一方、「どちらかといえば嫌い」が5.6%、「嫌い」が1.2%で、これらを合わせた【嫌い（計）】は6.8%と1割に満たない。(図IV-1-1)

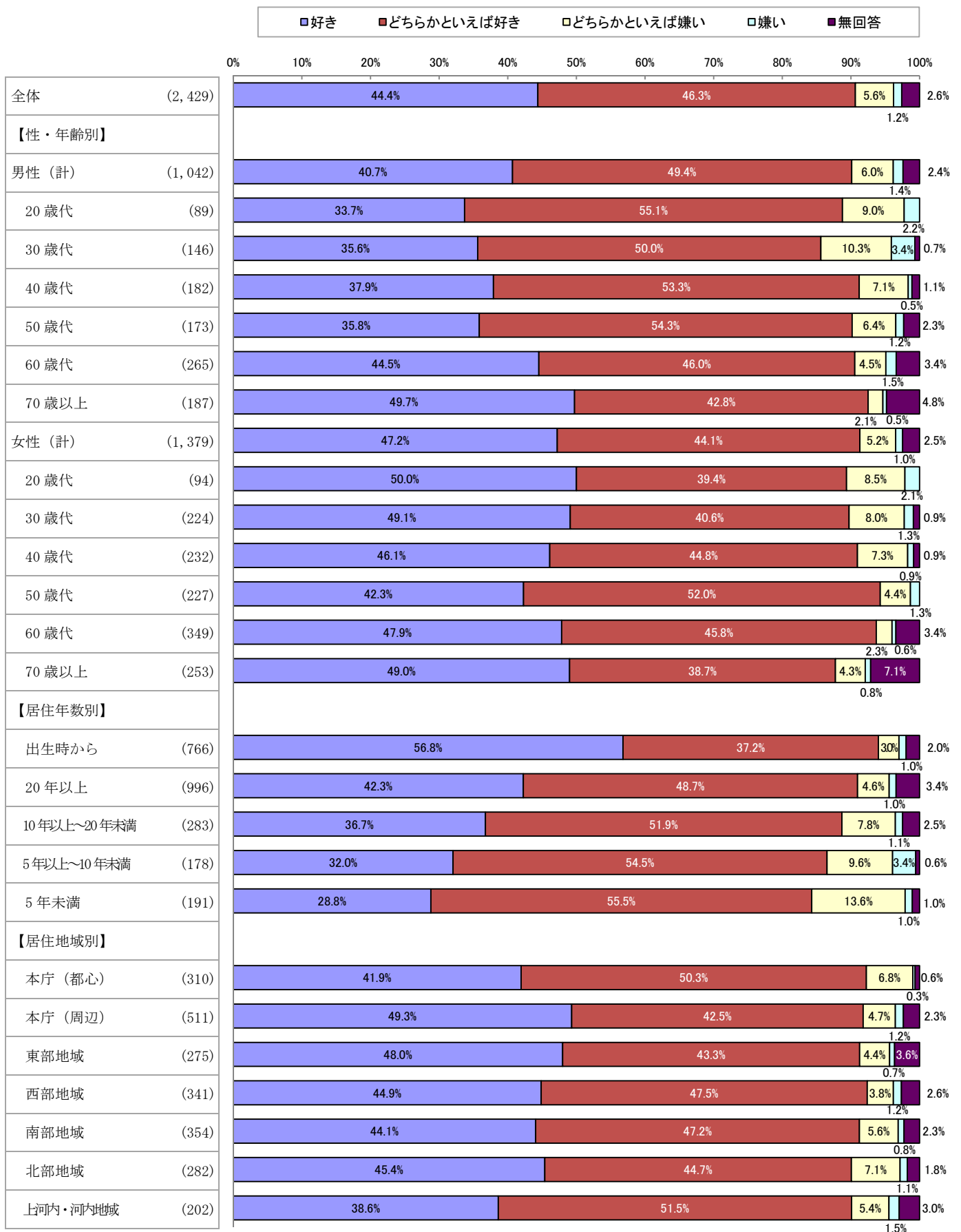
性・年齢別で見ると、【好き（計）】は<女性/50歳代>が94.3%と最も多く、次いで<女性/60歳代>が93.7%であった。【好き（計）】は、性別・年齢別に関係なく8割を超えている。

一方、【嫌い（計）】は、<男性/30歳代>が13.7%と最も多く、<男性/20歳代>の11.2%、<女性/20歳代>の10.6%と続いている。(図IV-1-2)

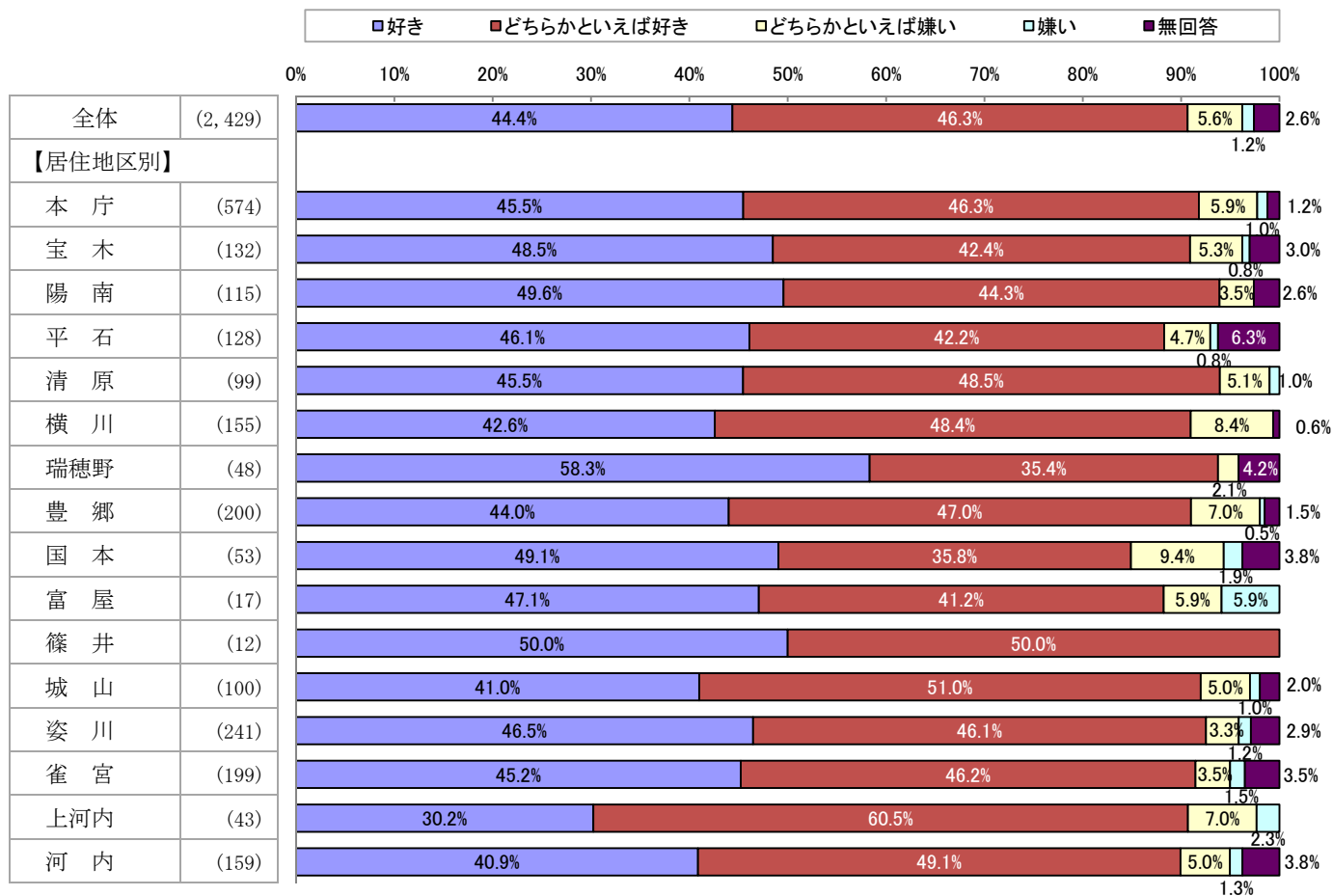
居住年数別で見ると、【好き（計）】は<出生時から>が94.0%と最も多く、次いで<20年以上>が91.0%であった。一方、【嫌い（計）】は、<5年未満>が14.6%と最も多く、次いで<5年以上~10年未満>が13.0%であった。(図IV-1-2)

居住地域別で見ると、【好き（計）】は、<西部地域>が92.4%と最も多く、次いで<本庁（都心）>が92.2%であった。一方、【嫌い（計）】は、<北部地域>が8.2%と最も多く、次いで<本庁（都心）>が7.1%であった。(図IV-1-2)

<図IV-1-2>性・年齢別/居住年数別/居住地域別



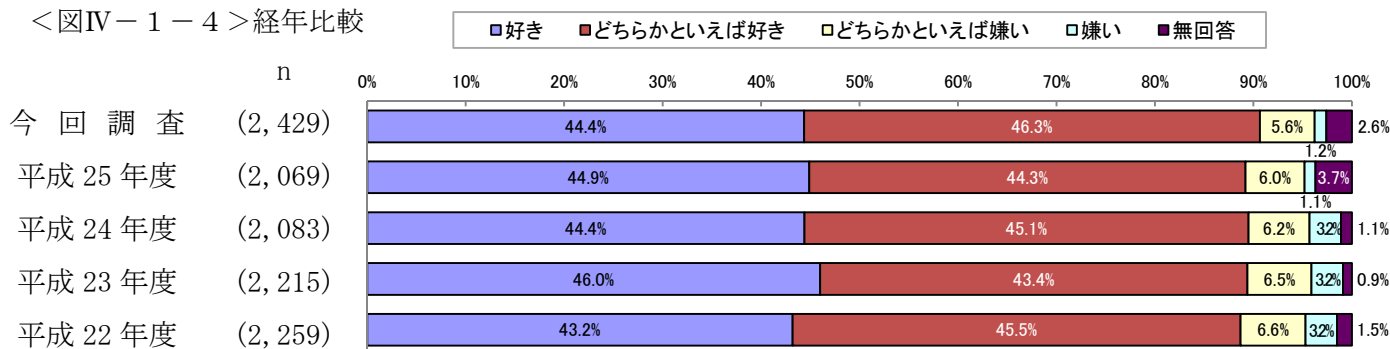
<図IV-1-3>居住地区別



【経年比較】

選択項目	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い	無回答
平成26年度	44.4%	46.3%	5.6%	1.2%	2.6%
平成25年度	44.9%	44.3%	6.0%	1.1%	3.7%
平成24年度	44.4%	45.1%	6.2%	3.2%	1.1%
平成23年度	46.0%	43.4%	6.5%	3.2%	0.9%
平成22年度	43.2%	45.5%	6.6%	3.2%	1.5%

<図IV-1-4>経年比較



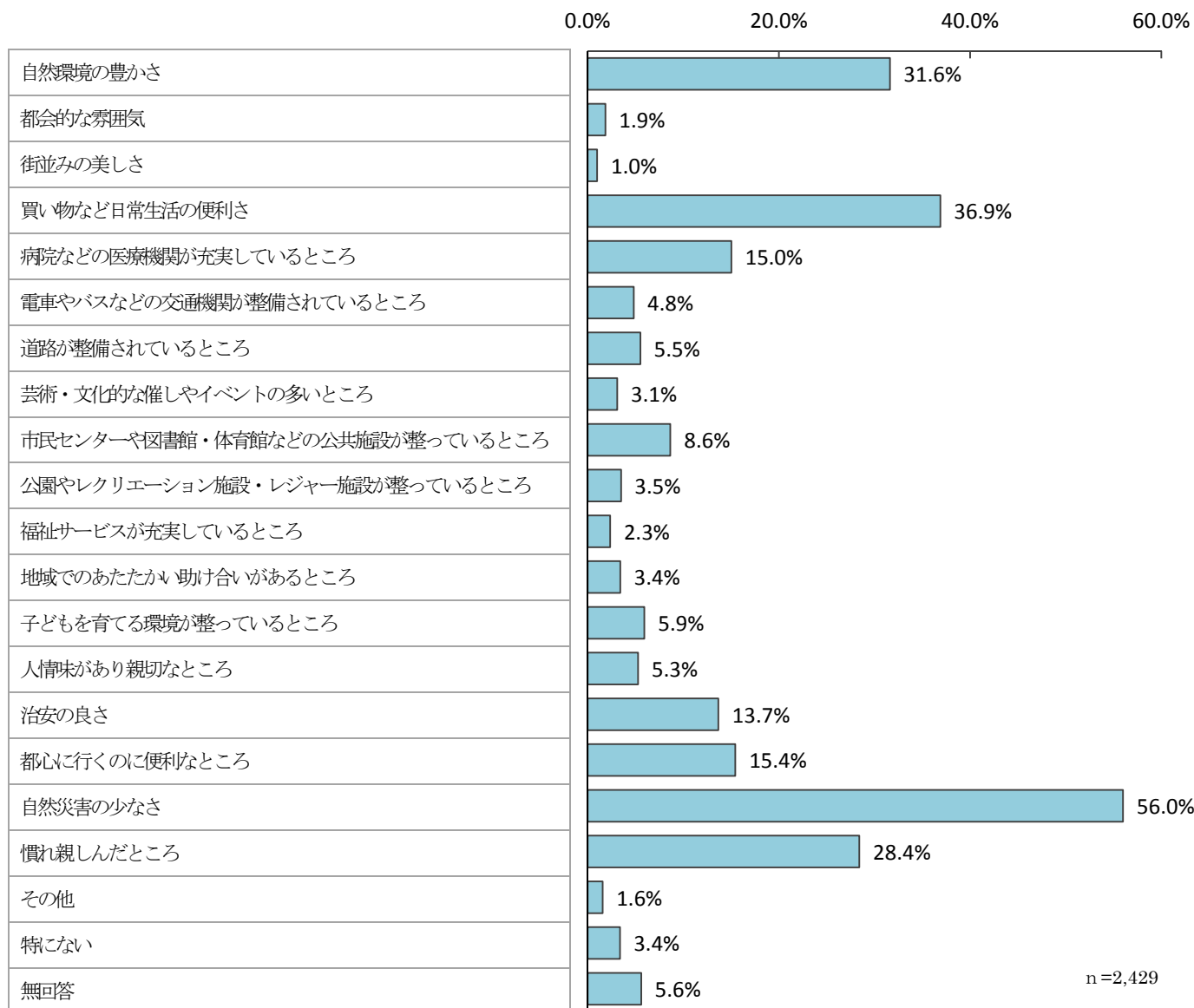
【好き（計）】及び【嫌い（計）】については、過去4年間と比較しても、特に大きな違いは見られない。
(図IV-1-4)

(2) 好きな理由

◇ 自然災害の少なさが5割半ば

問2	宇都宮市の好きだと思うところをあげてください。	(○は3つまで)
		n=2,429
1	自然環境の豊かさ	31.6%
2	都会的な雰囲気	1.9%
3	街並みの美しさ	1.0%
4	買い物など日常生活の便利さ	36.9%
5	病院などの医療機関が充実しているところ	15.0%
6	電車やバスなどの交通機関が整備されているところ	4.8%
7	道路が整備されているところ	5.5%
8	芸術・文化的な催しやイベントの多いところ	3.1%
9	市民センターや図書館・体育館などの公共施設が整っているところ	8.6%
10	公園やレクリエーション施設・レジャー施設が整っているところ	3.5%
11	福祉サービスが充実しているところ	2.3%
12	地域でのあたたかい助け合いがあるところ	3.4%
13	子どもを育てる環境が整っているところ	5.9%
14	人情味があり親切なところ	5.3%
15	治安の良さ	13.7%
16	都心に行くのに便利なところ	15.4%
17	自然災害の少なさ	56.0%
18	慣れ親しんだところ	28.4%
19	その他	1.6%
20	特にない	3.4%
	(無回答)	5.6%

<図IV-1-5>全体

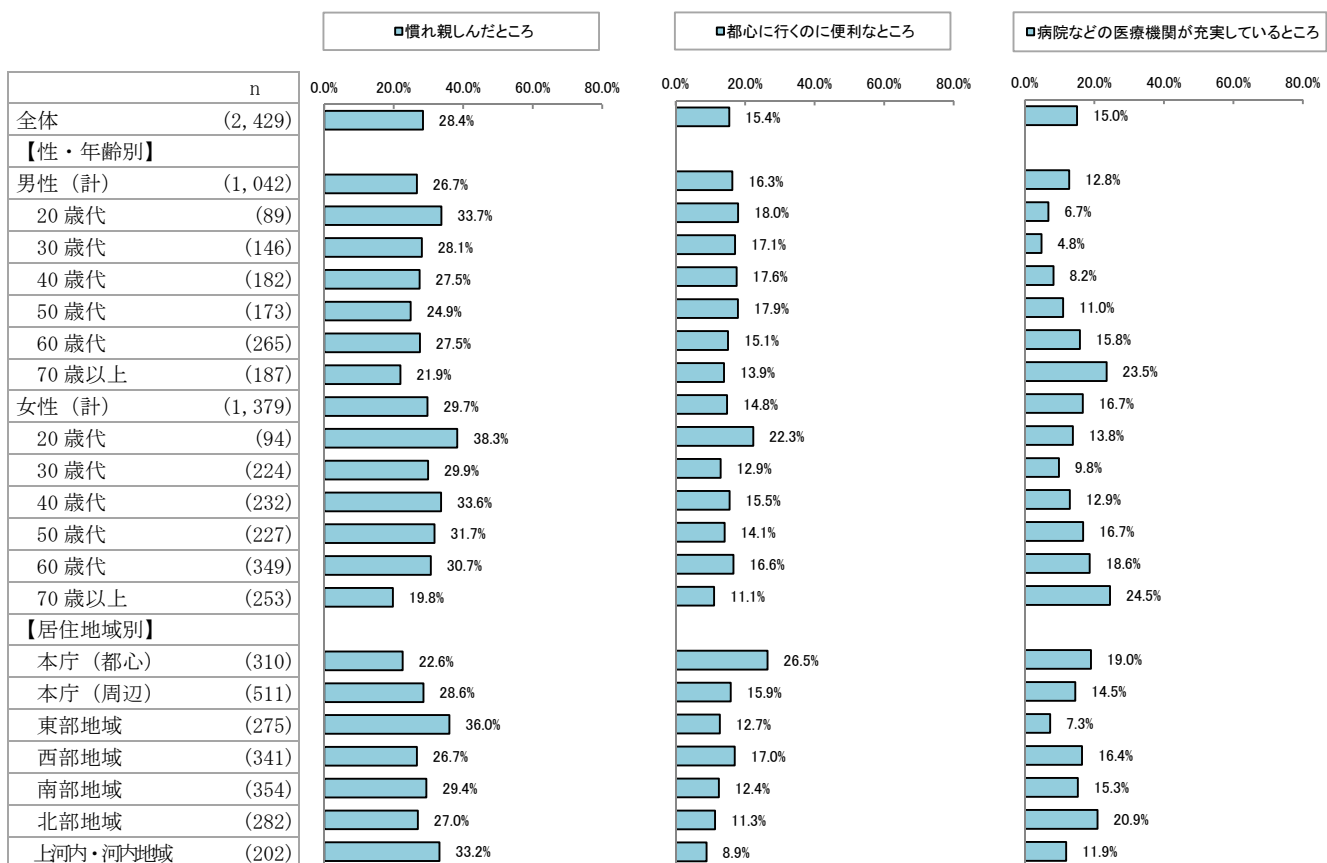
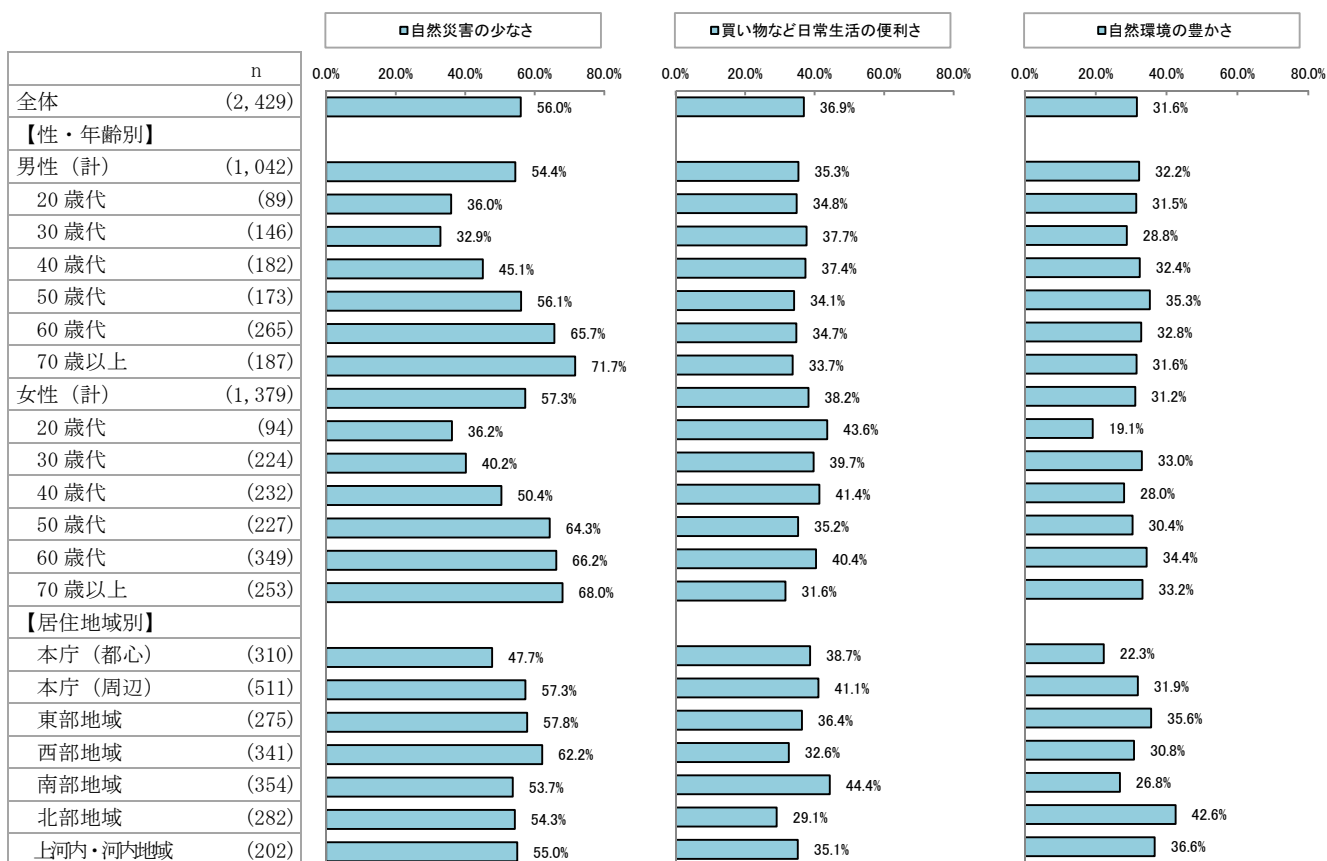


宇都宮市で好きだと思うところについて、1位が「自然災害の少なさ」で56.0%、2位が「買い物など日常生活の便利さ」、3位「自然環境の豊かさ」、4位「慣れ親しんだところ」、5位「都心に行くのに便利なおところ」、6位「病院などの医療機関が充実しているところ」という順であった。(図IV-1-5)

上位6項目について性・年齢別にみると、「自然災害の少なさ」は<男性/70歳以上>が71.7%と最も多く、次いで<女性/70歳以上>が68.0%、であった。「買い物など日常生活の便利さ」は性・年齢別ではあまり変化は見られず、<女性/20歳代>が43.6%と最も多かった。「自然環境の豊かさ」は<男性/50歳代>が35.3%と最も多く、「慣れ親しんだところ」は<女性/20歳代>の38.3%、「都心に行くのに便利なおところ」は<女性/20歳代>の22.3%、「病院などの医療機関が充実しているところ」は<女性/70歳以上>の24.5%が最も多かった。(図IV-1-6)

居住地域別にみると、「自然災害の少なさ」は各地域で5割前後となっているが、<西部地域>の62.2%が最も多く、「買い物など日常生活の便利さ」は<南部地域>の44.4%、「自然環境の豊かさ」は<北部地域>の42.6%、「慣れ親しんだところ」は<東部地域>の36.0%、「都心に行くのに便利なおところ」は本庁(都心)の26.5%、「病院などの医療機関が充実しているところ」は<北部地域>の20.9%が最も多かった。(図IV-1-6)

<図IV-1-6>性・年齢別/居住地域別（上位6項目）

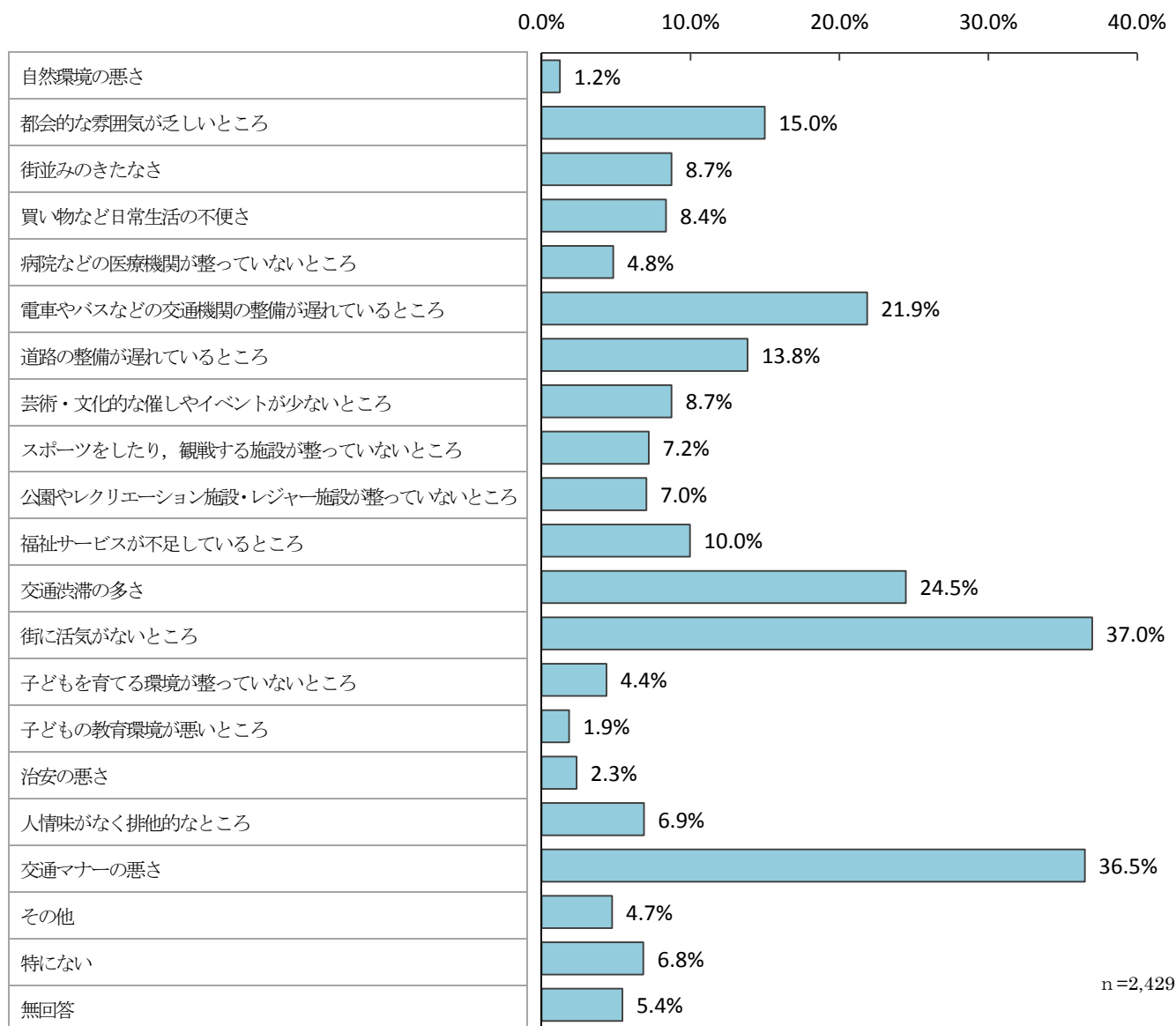


(3) 嫌いな理由

◇ 「街に活気がない」が4割近く、次いで交通関係に不満が集まる

問3	宇都宮市の嫌いだと思うところをあげてください。	(○は3つまで)
		n=2,429
1	自然環境の悪さ	1.2%
2	都会的な雰囲気が乏しいところ	15.0%
3	街並みのきたなさ	8.7%
4	買い物など日常生活の不便さ	8.4%
5	病院などの医療機関が整っていないところ	4.8%
6	電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ	21.9%
7	道路の整備が遅れているところ	13.8%
8	芸術的・文化的な催しやイベントが少ないところ	8.7%
9	スポーツをしたり、観戦する施設が整っていないところ	7.2%
10	公園やレクリエーション施設、レジャー施設が整っていないところ	7.0%
11	福祉サービスが不足しているところ	10.0%
12	交通渋滞の多さ	24.5%
13	街に活気がないところ	37.0%
14	子どもを育てる環境が整っていないところ	4.4%
15	子どもの教育環境が悪いところ	1.9%
16	治安の悪さ	2.3%
17	人情味がなく排他的なところ	6.9%
18	交通マナーの悪さ	36.5%
19	その他	4.7%
20	特にない	6.8%
	(無回答)	5.4%

<図IV-1-7>全体



宇都宮市で嫌いだと思うところについては、1位が「街に活気がないところ」で37.0%、2位が「交通マナーの悪さ」で36.5%、3位が「交通渋滞の多さ」で24.5%、4位が「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」で21.9%、5位が「都会的な雰囲気が乏しいところ」で15.0%、6位が「道路の整備が遅れているところ」で13.8%という順であった。(図IV-1-7)

性・年齢別にみると、「街に活気がないところ」は<女性/50歳以上>が46.7%と最も多いが、<男性/20~30歳代>と<女性20~30歳代>の若年層では20%台であった。「交通マナーの悪さ」は<男性/20歳代>が59.6%と最も多く、「交通渋滞の多さ」は<男性/30歳代>の43.8%が最も多かった。「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は<男性/30歳代>の30.8%が最も多く、<男性/60~70歳代>と<女性/60歳代>は10%台であった。(図IV-1-8)

居住地域別にみると、「街に活気がないところ」は<本庁(都心)>が42.6%と最も多く、「交通マナーの悪さ」は<西部地域>が40.5%と最も多く、「交通渋滞の多さ」は<東部地域>が35.3%と最も多く、その他の地域は全て20%台であった。「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は<東部地域>が29.5%であった。(図IV-1-8)

<図IV-1-8>性・年齢別/居住地域別（上位6項目）

